

フィールド3 経済活力

～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

フィールド3 経済活力

～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

◎工業の振興

(公) 企業誘致整備対策事業 (経済部 商工労政課) (政策懇談会)

6, 370千円 (15,000千円)

1 事業目的

現在、企業用地として、貯木場事業用地や多極型産業推進事業用地の造成を行い、分譲しているところであるが、本市がもつ立地特性からインターチェンジ周辺へ立地を希望する企業が増えている。このようなことから、さらなる産業の振興と雇用の拡大を図るため、新たな内陸型企業用地の確保に向け、国の地籍整備推進調査費補助金を活用し測量等を実施する。

2 事業年度

平成26年度

3 事業概要

場所：新居浜市観音原町

面積：約40,000㎡ (住友林業所有地)

4 26年度の事業内容

地籍測量等委託料 6, 370千円

5 財源内訳

(1) 国 3,185千円 (地籍整備推進調査費補助金)

(2) 一財 3,185千円

(施) 地場産業育成費 (経済部 商工労政課) (拡充・政策懇談会)

24, 923千円 (12,972千円)

1 事業目的

ものづくり産業を支える本市中小企業が抱える諸問題を解決し、継続的に発展できる地場産業の活性化を目指し、新たな事業展開への支援や受注機会拡大に向けた各種施策を実施する。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

(1) 新居浜ものづくりブランド創出・支援等事業 19, 821千円

委託先：えひめ東予産業創造センター

平成25年度に引き続き、市内事業所がもつ製品・技術を新居浜ものづくりブランドとして認定を行うとともに、販路開拓・受注機会の拡大を狙い、大型見本市出展〔東京・大阪〕支援を愛媛県・西条市と連携しながら行っていく。更に、全国的なものづくりブランドの認知度の向上を目指し、多くの産業分野のエンジニアに認知されている検索サイトを活用した取り組みを進める。

(2) 中小企業新事業展開支援事業 4, 102千円

委託先：えひめ東予産業創造センター

新事業への展開を考えている事業所への訪問・聞き取り、知的財産に係る相談、セミナー等の開催を通じて、新事業への転換が図れるよう支援を行う。

フィールド3 経済活力

～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

- (3) 地場産業持続的発展推進事業補助金 1,000千円
新居浜機械産業協同組合が実施する受注開拓事業、人材育成事業等に対し助成することにより、地場産業界及び本市産業の活性化を図る。

(施) **ものづくり新居浜支援事業費（経済部 商工労政課）（拡充・政策懇談会）**
13,236千円（4,978千円）

1 事業目的

現産業振興ビジョンの策定から4年が経過し、策定時から社会要因や経済要因も大きく変化しており、今回、本市ものづくり産業の現状を把握し、課題等を抽出・分析しながら、中小企業の事業展開の方向性や新たな産業施策について、抜本的に新たな産業ビジョンを策定する。

また、将来のものづくり産業の担い手を育てていく視点で、小・中学生、高校生、新居浜高専生を対象に、明確な目的意識や職業観・勤労観を持ち、高度で専門的な知識や技術を身につけたものづくり人材の育成を図る。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

- (1) ものづくり産業振興ビジョン策定事業 9,482千円
報償費（委員謝金） 180千円
費用弁償（委員旅費） 385千円
需用費（消耗品費） 30千円
委託料（業務委託料） 8,887千円
- (2) ものづくり人材育成推進事業 3,754千円
委託先：えひめ東予産業創造センター
◎小学生：体験講座（3回）、企業見学等（1回）
◎中学生：企業講座（6回）、企業見学等（2回）
◎高校生：企業人講座、実習（12回）、企業見学等（4回）、インターンシップ、出前授業等
◎新居浜高専：企業OBを活用した課題解決型インターンシップ 5社程度、3週間の期間を予定

フィールド3 経済活力

～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

◎商業の振興

(施) **中心市街地活性化対策費(経済部 商工労政課)** (新規・政策懇談会)

400千円

1 事業目的

商店街、商工会議所、市の三者で、中心市街地における活性化策を検討するにあたり「(仮称)新居浜市まちづくり協議会」を立ち上げ、実効性の高い活性化策の協議・検討を行う。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

中心市街地活性化対策協議会負担金 400千円

(構成)市・商店街連盟・商工会議所

- | | | |
|--------|-------|-------------------|
| 1. 報償費 | 500千円 | アドバイザー・コーディネーター謝金 |
| 2. 旅費 | 120千円 | アドバイザー・コーディネーター旅費 |
| 3. 需用費 | 70千円 | 消耗品費等 |
| 4. 役務費 | 12千円 | 通信運搬費等 |
| 5. 委託料 | 450千円 | イメージ図等の作成経費 |
| 6. 使用料 | 30千円 | 会場使用料ほか |
| 7. 予備費 | 18千円 | |

合計 1,200千円

※商工会議所1/3、商店街連盟1/3負担

フィールド3 経済活力

～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

◎農業の振興

(単) 市単独土地改良事業 (経済部 農地整備課)

83,000千円 (40,000千円)

1 事業目的

本事業は、受益面積 5.0ha 未満及び県単独土地改良事業の適用を受けない農道及び、かんがい排水施設等の整備を行うものであり、地域に応じた効果的・公益的な生産基盤の整備を推進し、農業生産の安定化を図ってきたところである。

今年度の事業内容は、前年度と同様に各土地改良区からの要望事項の中から緊急性の高いものを整備する予定である。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

(1) 補助金	60,000千円	揚水機改修、水路改良等
(2) 原材料費	3,000千円	
(3) 委託料	20,000千円	地下水調査業務委託

(単) 農道維持管理事業 (経済部 農地整備課)

67,000千円 (20,000千円)

1 事業目的

本事業は、農業用施設の改修及び補修を行うものであり、施設の機能低下の防止、延命化又は事故等の未然防止を図るものである。

事業内容は、前年度と同様に土地改良区、自治会又は市民の方々の要望事項の中から緊急性の高いものを速やかに実施する予定である。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

(1) 施設修繕料		12,000千円
(2) 委託料	浚渫委託料	6,000千円
	道路管理委託料	10,000千円
	測量委託料等	2,000千円
(3) 工事費		35,000千円
(4) 工事施工委託		2,000千円

フィールド3 経済活力

～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

(施) 新居浜市耕作放棄地解消促進事業費 (経済部 農林水産課) (新規・政策懇談会)

2,415千円

1 事業目的

近年、農業従事者の高齢化及び担い手不足等により耕作放棄地が増大し、鳥獣被害の拡大や害虫発生等の問題が起きている。そのため、通常の農作業では作物の栽培再開が困難な遊休農地について、新居浜市・JAが一体となり適正な管理を行うことにより、担い手への農地集積等を推進し、耕作放棄地の解消を図る。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

JA新居浜市が導入する遊休農地管理用機材の購入費用の1/2を助成。

(購入機材)・トラクター 1台 2,150千円

・フレールモア(雑草処理機) 1台 265千円

(施) 野菜ハウス設置事業費 (経済部 農林水産課) (新規・政策懇談会)

3,000千円

1 事業目的

市内の農業生産者の多くは小規模な農家のため、価格で大産地との競争は不利であるため、施設栽培を推進することにより農作物の周年集荷を安定的に行い、新居浜産農作物の消費拡大を図り、地産地消の推進、地域の農業及び経済を活性化させることを目的とする。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

市内の認定農業者、JA組合員等の販売農家が行う野菜ハウス設置に係る費用の一部を補助する。

(補助金上限額)

・認定農業者 1,000千円

・JA組合員及び販売農家 500千円

◎林業の振興

(単) **林道法面整備事業 (経済部 農林水産課)** (新規)

11,361千円

1 事業目的

林業の基幹施設である林道の法面が土砂災害警戒区域等に指定され、台風・大雨時には土砂流出が懸念されるため、防災工事を行い、林道を適正に保全することにより、本市の林業振興に努めるとともに、林道沿線の住宅等への土砂流入を防ぐことを目的とする。

2 事業年度

平成26年度

3 事業概要

林道「東田・落神線」の法面である落神忠魂碑山において、一部未施工部分を擁壁等で施工し、災害に対する安全性を高める。

平成26年4月着工、平成26年10月末完成予定

4 26年度の事業内容

測量設計費 1,361千円

工事請負費 10,000千円

5 財源内訳

(1) 市債 11,300千円 (防災対策事業債)

(2) 一財 61千円

◎水産業の振興

(施) **漁業環境整備事業費 (経済部 農林水産課)** (新規・政策懇談会)

3,000千円

1 事業目的

現在、新居浜市内の漁業協同組合は組合員の減少及び高齢化の進展、さらには漁獲高の減少により大変厳しい経営状況にある。そのため、冷蔵庫・冷凍庫・浮棧橋等の施設の更新がままならない状況となっている。これらの施設は漁業活動の根幹をなすものであり、必要不可欠な設備であるため、漁業協同組合が施設を更新する際に費用の一部を補助し、水産業の振興を図るとともに、漁業者の就労環境を整備するものである。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

交付先：新居浜市漁業振興対策協議会

対象施設 ・浮棧橋設置費用一式
・プラスチック減容器
・冷凍庫、冷蔵庫 等

フィールド3 経済活力

～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

(施) **地産食材六次産業化推進事業費 (経済部 農林水産課)** (新規・政策懇談会)

3,000千円

1 事業目的

新居浜市の産業の中心は工業であるが、第一次産業及び第三次産業での新たな成長産業の創出が必要とされている。商業、農業、漁業において、売れない、活性化していない、担い手不足など、抱えている問題が共通している。そのため、各産業が連携して六次産業化に取り組み、「地産食材」を活用した「食の成長産業」を創出する。当初は、未利用魚（市場に出回らない利用されない魚介類）を利用した練り製品を学校給食として納入する。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

補助金 3,000千円 (全体事業費5,398千円)

交付先：新居浜市六次産業化推進協議会

【事業展開の概要】

- ①六次産業化による食の産業ネットワーク事業の確立
- ②地産原材料を用いた商品開発及び店舗（商店街）開発
- ③食と健康の地産ブランドの創出
- ④小学校を中心とした給食事業
- ⑤観光事業に地産品及び地産地消型外食店舗を展開
- ⑥食育、健康プラン21等の県外への情報発信
- ⑦県外への事業展開

上記事業の実施に伴う人件費、事務費等を補助する。

【協議会全体事業費内訳】

人件費	1,728千円	加工・配送の人件費
開発費	630千円	商品開発・梱包開発費用
輸送費	150千円	商品・材料運送費
原材料費	920千円	材料購入費用
消耗品費	150千円	加工に必要な必要な諸資材費用
リース費	500千円	機材のリース費用
役務費	920千円	加工場、冷凍庫の賃借料
営業活動費	400千円	営業活動、宣伝広告費など
総事業費	5,398千円	

財源 補助金 3,000千円

その他 2,398千円 (販売収入、自己資金)

◎観光・物産の振興

(施) **観光事業推進費（経済部 運輸観光課）**（拡充・政策懇談会）

31,788千円 (23,675千円)

1 事業目的

新居浜市太鼓祭り推進委員会事業及び本市の観光施設等において開催される各種観光イベントに助成を行い、市民に憩いの時間を提供するほか、市外からの入り込み観光客増により地域経済の活性化を図る。また、本市の観光振興の中心的役割を果たしている観光協会の運営補助を行う。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

- | | |
|--|----------|
| ①新居浜市太鼓祭り推進委員会事業補助金
（交付先：新居浜市太鼓祭り推進委員会） | 8,848千円 |
| ②にいはま納涼花火大会事業補助金
（交付先：にいはま納涼花火大会協賛会） | 4,331千円 |
| ③社団法人新居浜市観光協会事業補助金
（交付先：社団法人新居浜市観光協会） | 12,381千円 |
| ④春は子ども天国事業補助金
（交付先：社団法人新居浜市観光協会） | 1,528千円 |
| ⑤サマーフェスティバル in マイントピア別子事業補助金
（交付先：社団法人新居浜市観光協会） | 1,000千円 |
| ⑥とっておきの新居浜検定事業補助金
（交付先：新居浜商工会議所） | 150千円 |
| ⑦一宮の杜ミュージアム推進事業補助金
（交付先：新居浜太鼓祭り一宮の杜ミュージアム実行委員会） | 1,000千円 |
| ⑧新居浜観光ガイド事業補助金（新規）
（交付先：新居浜観光ガイドの会） | 320千円 |
| ⑨観光情報発信推進事業補助金（新規）
（交付先：社団法人新居浜市観光協会） | 2,230千円 |

フィールド3 経済活力

～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

(施) 観光宣伝推進費 (経済部 運輸観光課) (政策懇談会)

10,451千円 (8,461千円)

1 事業目的

観光パンフレットやポスター等により、産業遺産や新居浜太鼓祭り等の本市の観光資源を積極的に宣伝し、観光客の誘致促進を図り、交流人口の増加による地域経済の活性化を推進する。また、市内の観光施設、特産品等の観光素材を組み合わせた着地型旅行商品の企画、造成、観光関係者を対象とした勉強会の開催、東京、大阪での物産・観光宣伝イベントへの参加等により、観光と物産のブランド力の向上を図る。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

- (1) 観光宣伝推進事業 3,751千円
 - ・旅費 (東京・大阪観光宣伝イベント) 432千円
 - ・需用費 (観光パンフレット等印刷費) 2,300千円
 - ・役務費 (通信運搬費等) 393千円
 - ・委託料 (太鼓祭りポスター制作委託料) 567千円
 - ・使用料及び賃借料 (仮設トイレ賃借料等) 59千円
- (2) ブランド力向上及び魅力発信事業 700千円
 - ・観光宣伝用名刺台紙購入費 500千円
 - ・特産品PR推進事業委託料 200千円
- (3) 着地型商品企画・造成事業 6,000千円
 - ・着地型旅行商品企画・造成事業委託料 6,000千円

4 財源内訳

- (1) その他 630千円 (未来への鉱脈売払代金)
- (2) 一般財源 9,821千円

(施) 観光案内充実事業費 (経済部 運輸観光課)

3,068千円 (2,572千円)

1 事業目的

別子銅山の近代化産業遺産が残る東平地区を訪れる観光客のおもてなしの向上を図るため、東平地区に観光案内板、説明板等を整備する。また観光客の交通整理及びガイドを実施することで受け入れ体制の充実を図る。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

- (1) 観光看板製作委託料 1,448千円
東平の展望エリアに「上部鉄道」遠望サインを設置する。
- (2) 観光ガイド業務委託料 1,620千円
産業観光案内、交通案内を実施する。
(人数) 1名
(期間) 平成26年4月～11月 (8か月)

フィールド3 経済活力

～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

(施) 物産振興対策費(経済部 運輸観光課) (拡充・政策懇談会)

2,282千円 (1,750千円)

1 事業目的

本市の産業、物産等の紹介宣伝と販路開拓、地場産品の開発及び会員相互の交流、地域の活性化を図るとともに、新居浜市の産業振興に寄与することを目的として設立された新居浜市物産協会が実施する事業について助成を行う。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

- (1) 新居浜市物産協会事業補助金 750千円
 - ・物産協会主催・共催の物産展の開催
 - ・物産協会後援・協賛・協力の物産展等各種イベントへの参加 など
- (2) 太鼓台を活用した観光物産事業補助金 1,000千円
 - ・松山空港ビルでの太鼓台の展示及び特産品の販売
 - ・太鼓祭り期間中に観光物産展の開催
- (3) 県外物産展開催事業補助金(新規) 532千円
 - ・東京(2回)、大阪(1回)での観光物産展の開催

◎運輸交通体系の整備

(施) デマンドタクシー導入事業費(経済部 運輸観光課)

5,061千円 (7,725千円)

1 事業目的

平成20年度に策定した都市交通計画では、バス交通空白地域へ新たな公共交通を随時導入し、高齢社会に対応し、交通弱者のための市内公共交通体系を確保することを目指すこととしている。そのため、平成23年1月から実施しているデマンドタクシーの試験運行を引き続き、平成26年9月までの6か月間実施する。

なお、10月以降も本格運行としての運行を継続するかどうかは、現在検討中であり、3月中を目途に方針を決定する。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

- (1) 負担金 5,061千円
 - ・実施主体 新居浜市地域公共交通活性化協議会
 - ・運行エリア及び利用対象地域
 - 川東エリア
 - 上部東エリア(新居浜角野線及び別子山線より東側)
 - 上部西エリア(新居浜角野線及び別子山線より西側)
 - ・運行日・運行時間
 - 週5日(土・日・祝日は運休)の午前9時から午後4時まで
 - 毎時00分発(一日8便)

フィールド3 経済活力

～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

(施) **公共交通機関マナー向上推進事業費（経済部 運輸観光課）**（新規）

610千円

1 事業目的

デマンドタクシーの運行を担当するタクシー事業者の接客マナーの向上を図るとともに、本市を訪れる観光客に新居浜市に対するイメージアップを図るため、タクシー乗務員をはじめ、公共交通機関の乗務員に対し、「おもてなしの心」を表現する接客研修を開催する。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

負担金 610千円

- | | |
|--------------|---|
| (1) 実施主体 | 新居浜市地域公共交通活性化協議会 |
| (2) 講習内容 | 接客研修 |
| (3) 対象 | ・新居地区旅客自動車協会組合加盟のタクシー乗務員
(約300人)
・渡海船等の公共交通機関の乗務員 |
| (4) 会場(予定) | 新居浜市市民文化センター中ホールなど |
| (5) 開催時期(予定) | 1月下旬に2回開催 2～3時間 |
| (6) 講師(予定) | 2名 |

※受講修了後、受講者に研修修了証（仮）等を配布する予定。

フィールド3 経済活力

～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

(施) 別子山地域バス運行費 (経済部 別子山支所)

19,593千円 (22,774千円)

1 事業目的

別子山地域は、市街地から約35kmの山間部に集落が点在していることから市街地への別子山地域住民の交通手段の確保及び市街地からの観光を目的とした交流人口の増大を図るため、別子山地域バスを運行している。

平成26年度から市街地へ向けた運行回数を現在の2往復/日から3往復/日に増便し、別子山地域内及び市街地に向けた唯一の公共交通手段である別子山地域バスの利便性の向上を図る。

2 事業年度

平成26年度

3 事業概要

- ・運行区間 別子橋 ～ 住友病院前
- ・運行便数 毎日：3往復6便
- ・使用車輛 リフト付マイクロバス
(普通席17名+車いす1名)
ワゴン車(普通席9名)
- ・使用料 大人400円
小人200円
※別子山地域内のみの利用は半額
定期乗車券・回数乗車券あり

4 26年度の事業内容

- | | |
|-----------------------|----------|
| ・車両管理等(器具修繕費・役務費・公課費) | 2,599千円 |
| ・ガソリン代等(燃料費) | 3,152千円 |
| ・運行管理等(委託料) | 13,564千円 |
| ・施設使用料(使用料及び賃借料) | 97千円 |
| ・事務関係費(報償費・消耗品費) | 181千円 |

5 財源内訳

- | | |
|---------|----------------------|
| (1) 県 | 6,000千円(電源立地地域対策交付金) |
| (2) 市債 | 10,100千円(過疎債) |
| (3) その他 | 3,493千円(使用料・別子山振興基金) |

フィールド3 経済活力

～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

◎雇用環境の整備・充実

(施) 高齢者労働能力活用費 (経済部 商工労政課)

54,800千円 (53,300千円)

1 事業目的

定年退職後等の高齢者を対象とした臨時的かつ短期的な就業機会の提供を通じて、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりや健康で生きがいのある生活の実現に寄与することを目的とする。

実施主体の(公社)新居浜市シルバー人材センターでは、請負業務の受注件数の減少や、事業仕分けによる国庫補助金の削減により、シルバー会員への配分金等の支払いにおいて資金繰りが厳しいため、平成21年度から運営資金の貸付(無利子)を実施している。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

・シルバー人材センター運営補助金	14,700千円
運営費補助	8,700千円
環境保全シルバーロード事業費	2,000千円
シルバーワンストップサービス事業費	2,000千円
シルバーブランド創出事業費	2,000千円
・(社)全国シルバー人材センター協会賛助会費	50千円
・(社)愛媛県シルバー人材センター連合会賛助会費	50千円
・シルバー人材センター運営資金貸付金	40,000千円

4 財源内訳

- (1) その他 40,000千円 (元金)
- (2) 一財 14,800千円

(施) 若者サポートステーション事業費 (経済部 商工労政課)

115千円 (111千円)

1 事業目的

若者が置かれている厳しい雇用環境の中、ニート(若年無業者)の存在が問題となっており、少子化や将来的な労働力不足に備え、ニートや引きこもり等の状態にある若者を就労へと導くための対策が急務となっている。

勤労青少年ホームの廃止に伴い、平成26年度からは、新居浜市市民文化センター2階を拠点とする予定であり、サポステ実施委託機関に対して、フォーラム開催の委託を行う。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

- ・若者自立支援フォーラム委託料 115千円 講師招聘代等